

リパーゼキット

シグナスオート LIP

【全般的な注意】

1. 本品は、体外診断用医薬品でありそれ以外の目的に使用しないでください。
2. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断してください。
3. 電子化された添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
4. 使用する機器の電子化された添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用してください。
5. 本品には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれていますので、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。

*【形状・構造等（キットの構成）】

R-I 緩衝液

R-II 基質液

1, 2-o-ジラウリル-rac-グリセロ-3-グルタル酸-(6-メチル-レゾルフィン) エステル [略名: DGGMR]

【使用目的】

血清又は血漿中のリパーゼの測定

【測定原理】

本品は合成基質比色法¹⁾による血清又は血漿中のリパーゼ(LIP)を測定する試薬です。
検体中のLIPは、基質のDGGMRに作用し、1, 2-o-ジラウリル-rac-グリセロールとグルタル酸-(6-メチル-レゾルフィン)エステルに分解します。
グルタル酸-(6-メチル-レゾルフィン)エステルはアルカリ条件下で加水分解し、グルタル酸及びメチルレゾルフィンに分解します。
メチルレゾルフィンの遊離による580 nm付近の吸光度の増加を測定することによりLIP活性を求めます。

$$\text{DGGMR} \xrightarrow{\text{LIP}} 1, 2-o\text{-ジラウリル-rac-グリセロール} + \text{グルタル酸-(6-メチル-レゾルフィン)エステル}$$
$$\text{グルタル酸-(6-メチル-レゾルフィン)エステル} \xrightarrow{\text{(アルカリ性)}} \text{グルタル酸} + \text{メチルレゾルフィン}$$

*【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

1. 検体は血清、血漿いずれでも使用できます。
2. EDTA やクエン酸塩、フッ化物のようなカルシウム抑制剤、抗凝固剤の使用は避けてください。
3. 検体を保存する場合は室温で5~6日、冷蔵、冷凍で1ヶ月以内に使用してください。²⁾

妨害物質・妨害薬剤^{注1)}

1. ヘモグロビン 500 mg/dL まで測定値に影響ありません。
2. ビリルビン 50 mg/dL まで測定値に影響ありません。
3. アスコルビン酸 50 mg/dL まで測定値に影響ありません。
4. 乳び 3000 度 (ホルマジン濁度) まで測定値にほとんど影響ありません。
5. 中性脂肪 400 mg/dL を超える検体では、負誤差を生じることがあります。

【用法・用量（操作方法）】

* 試薬の調製方法

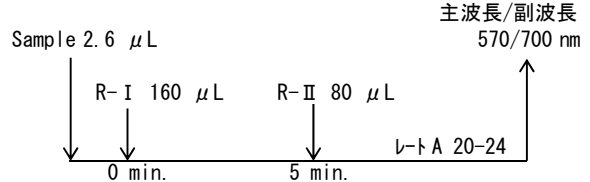
- R-I 緩衝液をそのまま使用します。
R-II 基質液をそのまま使用します。

必要な器具・器材・試料等

検量用試料の詳細については弊社担当者にお問い合わせください。

測定（操作）法

日立 7180 形自動分析装置の使用例



(注) 自動分析装置の設定条件等詳細については、弊社担当者にお問い合わせください。

【測定結果の判定法】

1. 参考基準範囲: 13~55 U/L³⁾
2. 判定上の注意
 - 1) 測定範囲を超える検体は、精製水又は生理食塩液で希釈した後測定してください。
 - 2) 参考基準範囲は、臨床判断値と異なりますのでご留意ください。

【臨床的意義】

臓器特異性が高く、急性膵炎、慢性膵炎、膵臓癌、膵仮性囊胞で高値を示します。また、肝疾患、胆嚢・胆道疾患、消化性腫瘍、イレウス、腹膜炎などの腹部疾患、ERCP 施行後、腹部手術などの膵近傍に炎症・障害がある場合に軽度上昇が認められます。³⁾

【性能】

性能

1. 感度・正確性・同時再現性
 - (1) 感度試験
 - 1) 生理食塩液等を試料として操作した場合の吸光度変化は、0.01/min 以下です。
 - 2) 既知活性の標準血清を試料として操作した場合、100 U/L に対する吸光度変化は 0.02~0.09/min の範囲内です。
 - (2) 正確性試験
既知活性の管理用検体を測定するとき、既知活性の±15%以内です。
 - (3) 同時再現性試験
同一検体を5回同時に測定するとき、測定値のC.V. 値は7%以下です。
2. 測定範囲^{注ii)}
1~400 U/L

相関性試験成績^{注iii)}

1. 血清検体
x: 他社 比色法
y: 本品
n=153
y=0.974x+1.6
r=1.000
2. 血漿検体
x: 他社 比色法
y: 本品
n=153
y=0.958x+1.9
r=1.000

較正用基準物質

JCCLS CRM-001 (JCCLS, ReCCS)

注 i, ii, iii) 特定の機種による試験結果のため、機種によっては同様の結果を得られない場合があります。詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。

【使用上又は取扱い上の注意】

* 取扱い上（危険防止）の注意

1. 検体は HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングを行わないでください。
- * 2. 本品の緩衝液には微量のアジ化ナトリウムを含有していますので、皮膚に付着したり、目に入らないよう注意してください。
3. 試薬が誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。

使用上の注意

1. 本品の基質液はアジ化物の影響を受けるため、アジ化物を含む試薬の混入には十分注意してください。詳細については、弊社担当者にお問い合わせください。
2. 本品は凍結を避け、貯蔵方法に従い保存してください。誤って凍結させた試薬は、品質が変化して正しい結果が得られない場合がありますので使用しないでください。
3. 本品に強い光を当てないでください。
4. 本品の基質液を冷蔵庫で保管する場合には、遮光保存してください。
5. 使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。
6. 開封後、4 週間以内に使用してください。保存環境により変動することがありますのでご注意ください。
7. 試薬の注ぎ足しは行わないでください。
8. 容器を再利用したり、他の目的に転用しないでください。

廃棄上の注意

1. 検体中には HIV、HBV、HCV 等の感染性のものが存在する場合がありますので、廃液、使用済み器具などは次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 1000 ppm、1 時間以上浸漬）又はグルタルアルデヒド（2%、1 時間以上浸漬）による消毒処理あるいはオートクレーブ（121℃、20 分以上）による滅菌処理を行ってください。
2. 検体又は検体を含む溶液が飛散した場合、80%のアルコールスプレー等で拭き取ってください。
- * 3. 本品の緩衝液には微量のアジ化ナトリウムを含有しています。アジ化ナトリウムは鉛や銅と接触すると爆発性のアジ化金属を形成することがあります。本品及び最終反応液を廃棄する際には安全のため大量の水で希釈し流してください。
4. 基質液の pH は排水基準の 5.8 未満です。廃棄にあたっては水質汚濁防止法等の規制に注意して処理してください。
5. 試薬及び器具類を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の規定に従って処理してください。

【貯蔵方法・有効期間】

* 貯蔵方法

- R-I 緩衝液 : 2~8℃保存
R-II 基質液 : 2~8℃遮光保存

有効期間

1 年間

*【包装単位】

品名	識別記号	規格
統一商品コード		
** シグナスオート L I P (E)		
326079254 R-I 緩衝液		52.0 mL × 2
R-II 基質液		28.9 mL × 2

他に包装がありますので、お問い合わせください。

・別売：

1. 「L I P 標準血清」
[(2.0 mL 用) × 1、統一商品コード 326081271]
2. 「L I P コントロール」
[(2.0 mL 用) × 1、統一商品コード 326081882]
3. 「L I P コントロール (H)」
[(2.0 mL 用) × 1、統一商品コード 326081899]

【主要文献】

1. 宇治義則、他：検査と技術、25 (10)、医学書院、東京、p. 819 (1997)
2. 山館周恒：Medical Technology、22 (3)、医歯薬出版、東京、p. 217-221 (1994)
3. 金井正光、他：臨床検査法提要、改訂第 35 版、金原出版、東京、p. 631-632 (2020)

【問い合わせ先】

株式会社シノテスト カスタマーサポート
TEL 0120-66-1141
FAX 042-753-1892
(品質に関するお問い合わせの際は、製造番号を確認の上ご連絡ください。)

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】



株式会社シノテスト

神奈川県相模原市南区大野台4-1-93
TEL : 0120-66-1141

(240701)